

札幌丘珠空港ビル株式会社
平成26年度 経営情報
(平成27年3月末日現在)

1 事業者の概要及び事業の概況

(1) 基本的事項

商号	札幌丘珠空港ビル株式会社 Sapporo Okadama Airport Building Co.,Ltd
所在地	札幌市東区丘珠町丘珠空港内
設立年月日	平成2年5月23日
資本金	4億9,800万円

(2) 事業者が行う事業の内容

① 主な事業

- ・ 貸室業及び空港利用施設の賃貸業
- ・ 航空事業者、航空旅客及び航空貨物に対する役務の提供

② 附帯事業

- ・ 食品・清涼飲料・煙草・旅行用品及び観光土産品の販売
- ・ 旅客及び送迎客に対して、見学・送迎施設や待合室の提供、その他サービスの提供
- ・ 広告宣伝業

(3) 役員の地位、氏名及び重要な兼職の状況

第25期事業報告書(P4「取締役及び監査役」)に記載のとおりです。

(4) 事業の概況

第25期事業報告書(P1「事業の概況」)に記載のとおりです。

2 第25期事業報告書

(1) 事業の概況 (P1～P3)

(2) 会社概要 (P3～P4)

(3) 計算書類等 (P5～P9)

3 設備の状況

(1) 既存設備の状況

(単位:千円)

	帳簿価格				合計
	建物	建物付属設備	器具備品	その他	
旅客ビル	414,750	60,008	3,552		478,310

(2) 設備の新設・除去等の計画

特記すべき事項はございません。

事業報告

自 平成26年4月 1日
至 平成27年3月31日

I 事業の概況

1 事業の経過及び成果

我が国の経済は、金融及び経済政策を背景に、企業収益や雇用環境の改善等が見られ、景気は、緩やかな回復傾向が見られる状況となりました。

こうした中、航空業界は、羽田空港の国際線発着枠の拡大や、LCC（ローコストキャリア）の台頭等に伴い、訪日外国人旅行者が過去最高を記録する等、回復の兆しが見えてきたところであります。

一方で円安や消費増税に伴う個人消費の回復の遅れ、世界経済の減速に伴う景気の低迷が懸念される等、先行きが不透明なところであります。

当空港においては、HAC（㈱北海道エアシステム）の安定運航に伴う信頼回復及びビジネス客以外の顧客開拓に伴い、年間乗降客数は、175,160人となり、対前年度比12,070人の増（7.4%増）、搭乗率64.7%（1.5ポイント増）と好調に推移いたしました。

また、6月28日から9月20日まで毎週土曜日（毎週1往復：合計13往復）に、FDA（㈱ガドリムエアラインズ）による、名古屋小牧空港から当空港へチャーター便が運航され、乗降客数は、1,686人（搭乗率92.4%）となったところであります。

【路線別 乗降客数】

路線	乗降客数 (人)	構成比 (%)	対前年度比 (%)	搭乗率	
				(%)	対前年度比 (ポイント)
函 館	89,135	50.9	5.5	69.9	2.2
釧 路	53,552	30.6	11.3	60.0	5.3
利 尻	17,072	9.7	▲2.0	66.2	▲3.4
三沢（八戸）	13,715	7.8	—	49.3	—
名古屋小牧チャーター	1,686	1.0	—	92.4	—
合 計	175,160	100.0	7.4	64.7	1.5

※三沢（八戸）線は、平成25年7月1日から運航。

参考：函館⇄奥尻	11,095	—	6.3	44.2	2.6
----------	--------	---	-----	------	-----

2 経営状況

営業収益については、当社直営物販店の売上増等により、153,094千円（対前年度比2.0%増）となり、売上原価19,088千円を差し引いた売上総利益は、134,006千円（対前年度比1.3%増）となりました。

営業費用では、昨年度実施した屋上防水工事が、今期なかったため、その反動によるもの及び可能な限り経費を削減した結果、130,227千円（対前年度比3.8%減）となり、営業利益金額は、3,779千円、経常利益金額は、4,790千円、当期純利益金額は、4,078千円となりました。

資金の状況については、外壁保全工事及び節電対策に伴う屋外ネオンサイン並びに屋内ロビー等の照明のLED化工事等を実施した結果、現預金及び有価証券を合わせて、262,880千円（対前年度比20,811千円・7.3%減）となったところであります。

3 今後対処すべき課題

当空港にとっては、HACの安定運航及び利用促進が必要不可欠であり、今後もHAC等と連携をして、空港の利用促進を図るとともに、FDA（株式会社ドリームエアラインズ）のチャーター便の運航等に伴う、当空港の魅力アップを図るとともに、利用者サービスの向上に努めて参ります。

また、当空港ビル施設は、平成4年の開業から23年が経過し、建物保全の費用増が見込まれていること、また、利用者サービス向上対策として、搭乗待合室の拡張を含めたバリアフリー対策の検討を進める等、当社の経営は、今後も厳しい状況が見込まれることから、更なる費用の削減を図るとともに、物販店の売上収入及び広告収入の増加に努め、経営の安定化を図って参ります。

更には、HACをはじめ、北海道、札幌市、経済界、就航先空港ビル会社等の関係機関と連携し、乗降客増の対策として、既存路線の需要喚起を図るとともに、乗降客以外の集客対策として引き続き、毎月開催している産直市、ローコンサートを柱として、札幌丘珠エアポートアカデミー、きつずわ〜くをはじめ、各種イベントを継続して開催することで、当空港をより身近に感じてもらい、理解や関心を高めてもらうよう取り組んで参ります。

一方、国が進める国管理空港（共用空港含む）の経営改革については、平成27年度中に、仙台空港の運営権者が決定（民営化）することから、関係機関と協議の上、引き続き、当空港の経営改革について調査及び検討を進めて参ります。

4 設備投資の状況及び資金調達状況

今期は、外壁保全工事及び屋外ネオンサイン並びに屋内ロビー照明等のLED化工事等、総額48,221千円の建設改良事業を行いました。

なお、この資金は、全額自己資金をもって充当いたしました。

5 入居者（平成27年3月31日現在）

- ① 航空会社
株式会社北海道エアシステム（HAC）
- ② 飲食店
丘珠キッチン（株式会社スコット）
- ③ 物販店
スカイショップおかだま（当社直営店）
- ④ レンタカー
株式会社トヨタレンタリース札幌
株式会社日産カーレンタルソリューション
三愛自動車工業株式会社
オリックス自動車株式会社
- ⑤ その他
札幌市
北海道札幌方面東警察署丘珠空港警備派出所
国際航空給油株式会社
株式会社ジーエム北都
株式会社日本空港コンサルタンツ
北海道フライトサービス株式会社

6 業績の推移

	単位 千円			
回 次	第 22 期	第 23 期	第 24 期	第 25 期 (当 期)
決 算 年 月	平成24年3月	平成25年3月	平成26年3月	平成27年3月
売 上 高	137,611	142,728	150,095	153,094
営 業 利 益 金 額	-9,145	2,740	-3,016	3,779
経 常 利 益 金 額	3,053	3,148	-1,287	4,790
当 期 純 利 益 金 額	2,763	2,547	-1,610	4,078
一 株 当 たり 当 期 純 利 益 金 額	277 円	256 円	-162 円	409 円
総 資 産	727,282	738,670	750,440	750,990
純 資 産	688,685	691,232	689,621	693,699

記載金額は、千円未満を端数処理しております。

II 会社概要 (平成27年3月31日現在)

1 主要な事業内容

貸室並びに空港利用施設の賃貸業、航空事業者及び航空旅客に対する役務の提供等

2 株式の状況

- (1) 会社が発行する株式の総数 34,320 株
 (2) 発行済株式の総数 9,960 株
 (3) 当期末株主数 10 名

3 株主の状況

株 主 名	株 数(株)	持株比率(%)	株主に対する出資
札 幌 市	2,600	26.11	0
ANAホールディングス(株)	2,500	25.10	0
北 海 道	1,300	13.05	0
(株)日本政策投資銀行	1,300	13.05	0
札幌商工会議所	862	8.66	0
(株)北洋銀行	498	5.00	0
(株)北海道銀行	450	4.52	0
北海道電力(株)	200	2.01	0
北栄保険サービス(株)	150	1.50	0
北海道瓦斯(株)	100	1.00	0

4 取締役及び監査役

役職名	氏名	摘要
代表取締役社長	生島 典明	札幌市副市長
常務取締役	橋 俊明	
取締役	若松 郁郎	札幌市市民まちづくり局都市計画担当局長
同	木本 晃	北海道総合政策部航空局長
同	大橋 裕二	(株)日本政策投資銀行北海道支店次長
同	高田 敏春	札幌商工会議所常務理事・事務局長
同	小林 良輔	(株)北洋銀行常務執行役員公務金融部長
同	山川 広行	(株)北海道銀行専務執行役員本店長
同	森 昌弘	北海道電力(株)取締役常務執行役員
同	土谷 浩昭	北海道瓦斯(株)取締役常務執行役員
監査役	佐藤 馨一	学校法人北海学園北海商科大学教授
同	高野 一夫	高野公認会計士事務所 公認会計士 税理士

当期中の退任取締役

代表取締役社長	秋 元 克 広	(平成26年9月25日退任)
取締役	渡 邊 直 樹	(平成26年6月20日退任)
取締役	杉 岡 正 三	(平成26年6月20日退任)

5 主要な借入先・借入残額等

なし

6 従業員の状況

単位 人

男・女別及び人員	
男 性	1
女 性	1
合 計	2

(注) 上記には、嘱託社員(1人)及びパート社員(3人)は、含まれておりません。

貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位 円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	168,832,377	流動負債	33,984,505
現金及び預金	162,879,877	未払金	23,374,652
商品	987,882	未払法人税等	1,289,700
前払金	3,017	未消費税等	623,000
未収入金	4,961,601	前受金	7,761,009
		預り金	183,103
		賞与引当金	753,041
固定資産	582,157,817	固定負債	23,306,600
有形固定資産	478,308,583	長期預り金	15,014,000
建物	414,749,227	退職給付引当金	8,292,600
建物付属設備	60,007,612		
工具器具備品	3,551,744	負債合計	57,291,105
無形固定資産	3,539,734	純資産の部	
電話加入権	218,400	株主資本	693,699,089
ソフトウェア	3,321,334	資本金	498,000,000
投資等	100,309,500	利益剰余金	195,699,089
保険積立金	8,000	利益準備金	15,000,000
投資有価証券	100,000,000	その他利益剰余金	180,699,089
保証金	301,500	別途積立金	100,000,000
		建設積立金	35,000,000
		繰越利益剰余金	45,699,089
		純資産合計	693,699,089
資産合計	750,990,194	負債・純資産合計	750,990,194

損 益 計 算 書

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	金 額	額
売 上 高		153,094,466
賃 貸 収 入	120,101,506	
附 帯 事 業 収 入	7,688,386	
商 品 売 上	25,304,574	
売 上 原 価		19,087,819
期 首 商 品 棚 卸 高	1,020,402	
商 品 仕 入	19,055,299	
期 末 商 品 棚 卸 高	987,882	
売 上 総 利 益		134,006,647
営 業 費 及 び 一 般 管 理 費		130,227,207
営 業 利 益 金 額		3,779,440
営 業 外 収 益		2,281,879
受 取 利 息	112,500	
雑 収 入	1,505,241	
賞 与 引 当 金 戻 入	664,138	
営 業 外 費 用		1,271,600
支 払 利 息	8,103	
賞 与 引 当 金 繰 入 額	753,041	
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	510,400	
雑 損 失	56	
経 常 利 益 金 額		4,789,719
税 引 前 当 期 純 利 益 金 額		4,789,719
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税		711,844
当 期 純 利 益 金 額		4,077,875

株主資本等変動計算書

自 平成26年4月 1日

至 平成27年3月31日

(単位 千円)

項 目	株 主 資 本							純 資 産 計
	資 本 金	利 益 剰 余 金					株 主 資 本 計	
		利 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金			利 剰 余 金 計		
			別 積 立 金	途 建 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金			
前期末残高	498,000	15,000	100,000	35,000	41,621	191,621	689,621	689,621
当期変動額								
剰余金から 準備金へ振替						0		
剰余金の内訳 科目間の振替						0		
当期純利益金額					4,078	4,078	4,078	4,078
当期変動額合計		0	0	0	4,078	4,078	4,078	4,078
当期末残高	498,000	15,000	100,000	35,000	45,699	195,699	693,699	693,699

個 別 注 記 表

1 重要な会計方針に係る事項

(1) 固定資産の減価償却方法

- | | |
|----------|--------------|
| ① 有形固定資産 | 定額法によっております。 |
| ② 無形固定資産 | 定額法によっております。 |
| ③ 繰延資産 | 定額法によっております。 |

(2) 重要な引当金の計算基準

- | | |
|-----------|---|
| ① 退職給付引当金 | 従業員の退職金支給に備えるため、当期末における退職金要支給額の当期分を計上しております。 |
| ② 賞与引当金 | 従業員に対する賞与支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。 |

(3) 消費税の会計処理 税抜き方式によっております。

(4) リース取引の処理方法 ファイナンスリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

2 株主資本等変動計算書に関する注記

- | | |
|------------------|----------|
| (1) 会社が発行する株式の総数 | 34,320 株 |
| (2) 発行済株式の総数 | 9,960 株 |

3 その他の注記

- | | |
|----------------|------------|
| 有形固定資産の減価償却累計額 | 842,369 千円 |
|----------------|------------|

監 査 報 告

平成27年5月14日

札幌丘珠空港ビル株式会社
代表取締役社長 生島 典明 様

監査役 高 野 一 夫



私、監査役として、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの第25期事業年度における会計及び会計以外の業務の監査を行いましたので、次のとおり報告いたします。

1 監査方法の概要

- (1) 会計監査のため会計帳簿及び書類を閲覧し、計算書類について慎重に検討し、必要と思われる審査、立会い、照合、取締役等からの報告聴取その他相当な方法を用いて調査いたしました。
- (2) 会計以外の業務執行の経過及び結果を監査するため、取締役会その他の会議に出席し、取締役から営業の報告を求め、決裁書類等重要な書類を閲覧し、その他必要と思われる方法を用いて調査いたしました。

2 監査役の意見

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、貸借対照表及び損益計算書の記載と合致していると認めます。
- (2) 貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表は、法令及び定款に従い、会社の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 事業報告の内容は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 附属明細書は、記載すべき事項を正しく示しており、指摘すべき事項は認められません。
- (5) 取締役の職務執行に関する不正行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以 上